

A 「ベセスダシステム 2001 準拠 子宮頸部細胞診報告様式の理解のために」: 日本産婦人科医会資料より

①細胞診結果 その1: 扁平上皮系

結果	略語	推定される病理診断	従来のクラス分類	英語表記	運用
1) 陰性	NILM	非腫瘍性所見、炎症	I、II	Negative for intraepithelial lesion or malignancy	異常なし：定期検査
2) 意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	II - III a	Atypical squamous cells of undetermined significance (ASC-US)	要精密検査： ①HPV 検査による判定が望ましい。 陰性：1年後に細胞診、HPV 併用検査 陽性：コルポ、生検 ②HPV 検査非施行 6ヶ月以内細胞診検査
3) HSIL を除外できない異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	III a-b	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL (ASC-H)	要精密検査： コルポ、生検
4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV 感染 軽度異形成	III a	Low grade squamous intraepithelial lesion	
5) 高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	III a III b IV	High grade squamous intraepithelial lesion	
6) 扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	V	Squamous cell carcinoma	

②細胞診結果 その2: 腺細胞系とその他

結果	略語	推定される病理診断	従来のクラス分類	英語表記	取扱い
7) 異型腺細胞	AGC	腺異型または腺癌疑い	III	Atypical glandular cells	要精密検査: コルポ、生検、 頸管および内膜細胞診 または組織診
8) 上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	IV	Adenocarcinoma in situ	
9) 腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	V	Adenocarcinoma	
10) その他の悪性腫瘍	other malign	その他の悪性腫瘍	V	Other malignant neoplasms	要精密検査：病変検索

B 広島市医師会臨床検査センターにおけるベセスダシステム(TBS)2001 対応コメント表

①細胞診結果に関するコメント

ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘NILM(陰性)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘ASC-US(意義不明な異型扁平上皮細胞)’に相当する像と考えます HPV検査による判定もしくは6ヶ月以内の細胞診検査の実施が望ましい
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘ASC-H(HSILを除外できない異型扁平上皮細胞)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘LSIL(軽度扁平上皮内病変)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘HSIL(高度扁平上皮内病変)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘SCC(扁平上皮癌)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘AGC(異型腺細胞)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘AIS(上皮内腺癌)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘Adenocarcionma(腺癌)’に相当する像と考えます
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘other malign.(その他の悪性腫瘍)’に相当する像と考えます

②コロサイトーシスの有無に関するコメント

明らかなコロサイトーシスは認めません
コロサイトーシスを認めます

③不適正標本に関するコメント

ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘上皮細胞数が少なく判定に適しません，標本中には異型細胞を認めません，再検査が望まれます’に相当します
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘多数の炎症細胞によって覆われた上皮細胞の評価が困難です，再検査が望まれます’に相当します
ベセスダシステム2001に準拠した新分類では‘過度な乾燥によるアーティファクトが強く判定が困難です，再検査が望まれます’に相当します